

# 農業委員会だより

発行/四街道市農業委員会	☎/421-6155
編集/農業委員会だより編集委員会	



認定農業者との意見交換会（平成30年1月）



視察研修：君津市 百姓王（7月）



座談会：亀崎地区（11月）

農家数	481	内販売農家数	276	専業	第1種兼業	第2種兼業
				77	31	168
		内自給的農家	205			

平成27(2015)年農林業センサス(単位:戸)

農地に係る問題が山積している今日、とりわけ耕作放棄地解消は喫緊の課題であると思います。こうした現状の解決に積極的に取り組み、一定の成果を上げている富津市の「寺原集落」と「農業生産法人(株)百姓王」を平成29年7月14日に視察しました。

寺原集落は、中山間地等直接支払制度を活用した集落営農で、平成14年に協定地権者22人・面積4.6haでスタートし、当初は稲作が主力でしたが、その後畑作営農に方針変換して大豆及び菜花などの園芸野菜を生産・出荷しています。交付金は、水路・作業道の管理・整備などの共同取組活動に活用されています。また、将来の担い手確保のため、農業体験塾を開催し、小学生には落花生や大豆の栽培指導を実践しています。これらの諸活動が集落全体の連帯意識を高め、耕作放棄地解消に役立っているものと実感しました。

次に訪問した農業生産法人(株)百姓王は、JAきみつ富津青壮年部の有志が地域内の離農と耕作放棄地の連鎖を断ち切りたいと営農集団を組織し、平成26年に法人化。出資者17名で構成され、国の補助により大型農業機械の導入が図られ、田植え、稲刈りなどの作業受託を行っています。平成28年度実績で作業受託面積50ha、借入面積15ha、再生農地は平成27年度に6haと拡大、また飼料用米等の生産に加え、トマト・メロンの輸出まで手掛けているとのこと。代表によると、子供の頃見て育った原風景を今の子供達に何としてでも残したいとの強い思いがここまでやってこられたと伺いました。

今回の視察により、改めて行政とJA及び地域の農家の皆さんの連携がいかに重要であるか痛感しました。それこそが、都市化が進む本市の農地保全に繋がるものと確信しました。



## 平成30年度標準農作業料金表

作業種目		契約条件	金額(円)
手 作 業	水田作業	1日当り	9,900
	畑作業	1日当り	8,200
機 械 作 業	耕起 (トラクター)	10a当り	6,000
	代かき (トラクター)	10a当り	6,200
	畦ぬり (トラクター)	1m当り	40
	植付(田植機)	10a当り (苗代除く)	7,000
	刈取脱穀 (コンバイン)	10a当り	18,000
	乾燥調整	60kg当り	2,700
	育苗	1箱当り (土・種代 含む)	800
畑作業 (トラクター)	10a当り	5,500	

## 四街道市農地の賃貸借情報について

平成29年1月から12月までに、本市において締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10aあたり)は、次のとおりとなりましたのでお知らせします。

区分	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	データ数
田 (水稲)	12,300	16,000	4,924	18件
畑 (普通畑)	12,500	20,000	5,306	12件

※賃借料を物納(米)で設定されている場合は、米60kgあたり13,600円に換算している。  
 ※金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としている。  
 ※平均額は、データ数により加重平均した値である。  
 ※データ数は、集計に用いた締結数である。



## 『梨農家2年目』



岸野 邦男さん

私は11年間のサラリーマン生活を辞め、昨年1月に就農しました。デスクワークがメインの仕事から肉体労働に変わり、第一子も産まれた事で、とても変化のある1年となりました。

梨の仕事は、子供の頃から見たり、手伝いをしたりして作業の流れは把握しているつもりでしたが、実際には知らない作業もたくさんあり驚きました。

作業工程は割愛しますが、半年以上の生育管理をした梨が初めてお客様へ販売し、後日、「美味しかったよ!」とお礼の言葉をいただいた時、大変だった作業の記憶が喜びに変わり、今までのサラリーマン時代には味わえなかった仕事の楽しさを実感しました。昨年末には、新植を行い、普及員、先輩生産者の方々の教えを受けながら、新しいジョイント栽培方式にも挑戦しています。

2年目となる今年は、昨年得た知識を木の生育に実践し、効果を自分の目で確かめていき、品質向上の技術確立を進めていくと共に、現在、木の老木化が進んでいるので、梨の供給量減少を最小限にしながらスムーズな植替えを行っていきたいです。



## 農業者年金に加入しませんか?!

あなたの老後生活への備えは十分ですか?

年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。

老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。



- ① 国民年金の第1号被保険者 (納付免除者を除く) ☆ ①、②、③の要件を満たせば、どなたでも加入できます。  
☆ 積み立てた保険料とその運用益で将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」です。
- ② 年間60日以上農業に従事 ☆ 保険料(2万~6万7千円)を自由に決められます。  
☆ 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象になります。
- ③ 20歳以上60歳未満 ☆ 将来受け取る年金も、公的年金等控除が適用されます。

農業者年金のお問い合わせは、農業委員会事務局 (☎421-6155)

J A千葉みらい四街道支店(☎422-2200)

お気軽にお電話ください。

## 人・農地プランについて



みなさんは「人・農地プラン」という言葉を聞いたことはありますか。農業に従事されている方は肌身で感じていると思いますが、担い手の高齢化、後継者不足など農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にさらされています。こうした問題の解決に向けては、地域で今後の5年後10年後を見据えた将来の地域農業のあり方や農地の活用について、地域で座談会を開催することが重要になります。「人・農地プラン」とは、座談会で話し合った結果をまとめた将来の設計図と考えてください。

当市では、平成29年9月から12月にかけて11の地域で座談会を開催しました。当市は面積の規模を考えれば小さな街ですが、地域によって作っている農作物が違えば、抱えている問題や意見もまた違います。座談会では、例えば「1枚の田が小さく効率が悪く、規模を拡大し担い手が借りやすい水田に整備しないと今後担い手がいなくなり、耕作放棄地は増加してしまう。」「現状は耕作放棄地などの問題は特にはないが、将来はどうなるかわからない。」「必ずしも規模拡大が成功するというわけではない。四街道市は都市近郊農業であり、消費地が近いことからそれだけ需要がある。販売戦略も重要だ。」と、様々な問題や意見を伺いました。

今年度の座談会は市が主催で実施しましたが、地域で話し合いをしたいなどありましたら、市役所産業振興課農政グループあるいは、地域の農地利用最適化推進委員にご相談ください。ご協力させていただきます。

【問合せ】産業振興課 Tel 421-6133

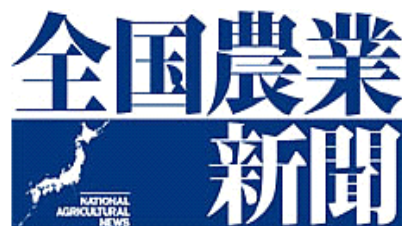
## 編集後記

昨年は、季節はずれの台風に振り回されてしまいました。10月の台風は、その後の野菜の生育、出荷に影響を及ぼし、野菜の高騰を招きました。学校給食などの必ず使わなければならないところなどは、限られた予算の中で大変だったと思います。今後は徐々に価格も安定していきそうですが、改めてなんでもない日々のありがたさを実感いたします。もうすぐまた田んぼの時季がやっけてまいりますが、今年も無事に刈り取りまで過ごせますよう、また、皆様並びにご家族方々が大過なく過ごせますよう、安全と健康をご祈念いたしまして編集後記とさせていただきます。

(JA千葉みらい 四街道支店 櫻井 正樹)

～農業と農政の情報

が満載です～



毎週金曜日発行

月額700円(送料・税込)

お申し込みは

農業委員会事務局まで

